

君はそれで素晴らしい  
作詞／作曲：長沢紘宣

“本日もメールいただきました。 “  
“ラジオネームは@コンプレックスさんです。 “  
“久々のメールどうもありがとう。 “  
“それじゃさっそく読みます。 “

「自分の全てが嫌いなんだ。こうして吸って吐く空気ですえも。」  
「こんなに無理して生きなきゃならない、その理由を聞かせてよ。」

“ありがとう。確かにその気持ち分かるよ。 “  
“人の目が怖すぎて、不安で苦しいんだ。 “

“下手なこと言わないでおくよ。なぐさめているわけじゃない。 “  
“ただ一つ、大きな声で言える。君はそれで素晴らしいんだよ。 “

「先日は返事どうもありがとう。」  
「少し楽になった気がします。」  
「だけどわがまま言わせてもらうなら、」  
「素晴らしい理由を聞かせてよ。」

“君には、愛してる人が必ずいるはず。 “  
“パーツじゃなく、性格じゃなく、存在を愛してるはず。 “

“君もそう。自分の嫌いなところ、それもふまえて愛されている。 “  
“理由はあっても無いようなものだから、君はそれで素晴らしいんだよ。 “

“この世界に、君の代わりなんてない。つらくたって、苦しかったっ  
て。 “  
“なら途中で人生をやめようか？そんなものは選択肢とは言えない。  
“

“君がいて、僕がいて、君が生きて、僕が生きる。 “  
“君もそう、そうやって創られた。君はそれで素晴らしいんだよ。 “